2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	看護学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	国際看護・災害看護(国際看護)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	8 時間(単位)
対 象 学 年	3学年		学期及び曜時限		教室名	
担 当 教 員	森田佳奈子	実務経験とその関連資格	12年間、カリブ・アフリカ地域などで緊急医療、国際保健活動に従事。現)長崎大學熱帯医学研究所国際保健分野研究員(リバプール熱帯医学校　国際公衆衛生と性と生殖)			

《授業科目における学習内容》

1)グローバル化が進む現代社会において、国内における保健医療に関する動向を理解し、看護師としての役割を理解することができる。
2)多文化・異文化への理解を深め、世界の健康格差の現状を理解し、広い視野に基づいた看護活動の展開ができる。

《成績評価の方法と基準》

筆記試験

《使用教材(教科書)及び参考図書》

系統看護学講座　統合分野　看護の統合と実践[3]　災害看護学・国際看護学　医学書院/スフィアプロジェクト

《授業外における学習方法》

授業終了後に、授業で学んだところを教科書で読み復習しておくこと。

《履修に当たっての留意点》

近年、日本国内でも国際看護学での学びは非常に重要になってきています。「なぜ重要なのか？」を授業終了時に理解し、看護師としてその学びを現場や日常生活でも活かしていってほしいと思います。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本国内における国際看護の必要性と課題について理解できる。		授業終了後に、授業で学んだところを教科書で読み復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	グローバル化に伴う国際看護の必要性と、現状と課題 ＊感染症の拡大 ＊在日外国人・訪日外国人の増加 ＊外国人看護師の増加		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	保健医療分野における国際機関と日本の国際協力のしくみについて説明ができる。		授業終了後に、授業で学んだところを教科書で読み復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	国際保健の変遷と取り組み ＊プライマリヘルスケアとヘルスプロモーション ＊人間の安全保障 ＊SDGs など ＊国連機関 ＊日本のODA(政府開発援助)の形態と実施状況		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	BafaBafa（異文化理解トレーニング)演習		授業終了後に、授業で学んだところを教科書で読み復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	いくつか国の文化や価値観の異なりを、 各グループは互いに相手国を訪れ相互理解を深める演習を行う。		
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	開発途上国の現状と課題を理解し、なぜ平均寿命が短く乳幼児・妊産婦死亡率が高いのか、その背景にある問題を説明することができる。		授業前に、スフィアプロジェクト教材と、ワークショップ議題に目を通す。終了後に、授業で学んだところを教科書で読み復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	中南米・カリブの最貧国のハイチの国事情と保健医療問題 社会・異文化を理解しての国際協力とは？(グループ演習)		
第5回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			